

FD・IR 企画部会 2024 年度総括（自己点検・評価）

FD・IR 企画部会委員長 小林 正樹
大学企画室長 小山内幸広
教務学生課長 目黒 裕二

1. 2024 年度目標の達成状況・主要計画の実施状況

（1）FD（Faculty Development）関係

事実の説明	・「キャリアデザインⅠ～Ⅲ」の授業中に、学修ポートフォリオの使用法説明と入力を行った（入力率：1 年生 92%・2 年生 86%・3 年生 84%） ・前期と後期それぞれの授業の中間時に授業改善を主とするアンケート、期末に自身の振り返りを主とするアンケートを実施した。 ・授業評価アンケート改定前後の比較検証は年度内に実施できなかった。 ・定例イベント以外の FD 活動活性化策を検討し、学生 FD 懇談会 2 回開催および教職員 FD ワークショップの企画を実施した。
自己評価	・目標①「学修ポートフォリオの試行実施・定着化」は概ね達成した。定着化に向けて次年度も取り組みを継続する。 ・目標②「新授業評価アンケートの試行実施・検証」の内、試行実施の部分は達成した。 ・目標③「FD 活動活性化策の検討・実施」は達成した。

（2）IR（Institutional Research）関係

事実の説明	・当初の計画とは異なる形となったが、科目合格率や授業評価アンケート等のダッシュボード開発を通じて、教職員の Tableau viewer 活用に繋がった。 ・各種分析結果について、FDIR 企画部会や FSD 研修会等の場で報告を行った。 ・共通学生調査の 3 年生対象のアンケート項目を大幅に削減した。
自己評価	・目標①「IR データベースの活用推進策の検討および実施」は、概ね達成した。 ・目標②「IR データベースを活用した学修成果分析レポートの作成および報告【継続】」は、一部達成した。引き続き分析を進めていく必要がある。 ・目標③「各種アンケート調査の統合・合理化（調査負担軽減）案の検討および実施【継続】」は、一部達成した。抜本的な負担軽減には至っていないため、引き続き検討していく必要がある。

（3）内部質保証関係

事実の説明	・各学科において専門学士力アセスメント試行を実施するとともに、試行の結果得られた課題や改善策等について、FSD 研修会で共有した。 ・2025 年度入学生用の「学生便覧」について、新アセスメントに対応した記載内容を、教務委員会と協働で検討し、作成した。
自己評価	・目標①「学位プログラムレベルのアセスメント（専門学士力 MR 到達度測定・評価）の試行【継続】」は、達成した。本格実施に向けて、次年度も試行と改善を継続する。 ・目標②「新アセスメントに対応した『学生便覧』の作成」は、達成した。 ・目標③「現行カリキュラムの教育成果の可視化と AEGG ポリシーに照らした各種検証」は、達成できなかった。

2. 課題および改善・向上の方策

	課題と改善向上の方策
（1）FD 関係	各取組の範囲が広がり、負担が増している。 新規取組の導入先行で推進してきたため、各取組同士がうまく結びついていない。 →これまでの取組みの振り返りと今後の方向性の確認、実質化に向けた計画の検討が必要。
（2）IR 関係	
（3）内部質保証	

3. 特記事項

（1）計画外の特筆すべき取組等

- ①福岡工業大学 FDIR 取組事例視察（対面：R6. 9. 19-20）
- ②本学・新潟医療福祉大学・北海道大学合同 IR セミナー開催（オンライン・一般公開：R6. 5. 16）
- ③本学・東北芸術工科大学・京都芸術大学合同 IR 研修会開催（オンライン・関係者限定：R6. 9. 4）

（2）外部評価または指摘等：特になし